



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月10日

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所 東  
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 純  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497  
 兼総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年11月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,286	△8.5	△453	—	△505	—	△707	—
28年2月期第3四半期	7,964	△1.9	50	—	23	—	△29	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第3四半期	△59.67		—					
28年2月期第3四半期	△5.94		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,427	904	16.7
28年2月期	4,955	475	9.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 904百万円 28年2月期 475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	—	△310	—	△380	—	△640	—	△50.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期は決算期変更に伴い、13ヶ月の変則決算となっておりますので、通期の対前年増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	15,000,000株	28年2月期	5,270,000株
29年3月期3Q	218,981株	28年2月期	218,981株
29年3月期3Q	11,862,019株	28年2月期3Q	5,051,019株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象	4
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得の環境に改善が見られるものの、中国などアジア新興国経済の減速懸念や、米大統領選後の円安・株高の急進など、海外の政治・経済の動向による変動リスクもあり、景気の先行きについては、不透明な状況が継続しております。

当社は、創業50周年を迎えておりますが、5月にRIZAPグループ株式会社の連結子会社となり、新株発行増資による財務体質の強化を実施し、企業業績の回復と今後の成長戦略の実現に向けた、新しい施策に迅速かつ積極的に取り組んでおります。

「リブランディング」の取り組みでは、10月に直営店75店舗のファサードの改修と新ロゴマークによる看板の取替えを実施し、同時にビジュアルプレゼンテーションの強化を図りました。これにより店舗が明るくなってよりわかりやすく入りやすくなっております。また、一つ一つの商品が見やすく買いやすく陳列され、お客様にゆっくりご安心してお買い物いただける空間に生まれ変わろうとしております。更に、11月には新ロゴお披露目キャンペーンとして2,000円以上お買上の方に、新ロゴの入った「トートバッグ」のプレゼント企画を実施いたしました。現在は、新しいブランドイメージの確立に向けて、品揃えの強化と新商品開発に全力で取り組んでおり、旧商品の在庫削減と同時並行して、精度の高い店舗仕入の仕組み作りに邁進しております。

新しい「Passport」ブランドの確立に向けて、今後も試行錯誤を重ねながら積極的に新商品の導入と鮮度の切れた商品との入れ替えを促進して、新しい品揃えの完成に取り組んでまいります。

また、当第3四半期累計期間の出退店につきましては、直営店が3店舗出店し8店舗閉鎖。フランチャイズ店につきましては、2店舗が閉鎖しました。尚、直営店9店舗が改装を実施しております。これにより、当第3四半期末の店舗数は直営店が135店舗。フランチャイズ店が12店舗となりました。尚、7月に改装に向けてクローズいたしました本八幡シャポー店は、駅ビルの耐震工事のため1年間の休業となるため直営店の店舗数から除いております。

また、池袋アルタ店と10月に開業したアリオ北砂店は、短期の僱事契約のため直営店店舗数に含めておりません。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,286百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業損失453百万円（前年同四半期は50百万円の営業利益）、経常損失505百万円（前年同四半期は23百万円の経常利益）、四半期純損失707百万円（前年同四半期は29百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて471百万円（9.5%）増加し、5,427百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて448百万円増加し、3,532百万円となりました。これは、主に商品が168百万円減少したものの、現金及び預金が552百万円、受取手形及び売掛金が103百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて23百万円増加し、1,894百万円となりました。これは、主に無形固定資産に含まれるソフトウェアが32百万円、敷金及び保証金が59百万円減少したものの、有形固定資産が113百万円増加したことなどによるものであります。

#### ②負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて41百万円（0.9%）増加し、4,522百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて37百万円増加し、3,191百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が299百万円、1年内償還予定の社債が115百万円減少したものの、短期借入金が222百万円、1年内返済予定の長期借入金93百万円、未払法人税等が30百万円、店舗閉鎖損失引当金の計上により47百万円、その他が未払金などの増加により65百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて4百万円増加し、1,331百万円となりました。これは、主に長期借入金238百万円増加したものの、社債190百万円、リース債務16百万円が減少したことなどによるものであります。

#### ③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて429百万円（90.5%）増加し、904百万円となりました。

これは、四半期純損失707百万円の計上により利益剰余金が減少したものの、第三者割当増資による資本金の増加

569百万円及び資本剰余金の増加569百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期累計期間  
(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度まで3期連続して当期純損失を計上し、当第3四半期累計期間においても、営業損失、経常損失、四半期純損失の計上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が見受けられます。

当該状況を改善・解消すべく、平成28年4月18日にRIZAPグループ株式会社（旧社名健康コーポレーション株式会社）との間で資本業務提携契約を締結し、平成28年5月26日開催の当社定時株主総会の決議にて、RIZAPグループ株式会社に対する第三者割当による新株式発行増資により1,138百万円の資金調達を行っております。資本業務提携契約に伴い、RIZAPグループ株式会社は当社の親会社となり、RIZAPグループ株式会社のマーケティング力やプロモーション力を活用した「売上向上の施策」や「ブランドイメージの刷新」、RIZAPグループ内の雑貨、アパレルブランドの商品デザイン力などを活用した「商品力の強化」、商品製造や店舗開発などの情報共有化で、コストメリット発揮による「収益力強化」を進めております。

第1四半期会計期間において当社は、RIZAPグループ株式会社及びそのグループ企業からの中長期成長戦略及び商品マーケティングに係るノウハウの提供や、コラボレーション施策のサポート、その他これに付随するサービスの提供を受けることにより、収益の安定化を目指しております。

第2四半期会計期間において当社は、RIZAPグループ株式会社と協議し、業績回復に向けた課題分析と対策を実行するプランを作成し、迅速に課題解決に取り組むべく「RIZAPグループ株式会社との戦略的事業資本提携」を策定いたしました。(1) 構造改革を実行し、これまでに溜まった膿みを出し切る、(2) Passportブランドを「リブランディング」し、ブランド認知度の向上を図る、(3) RIZAPグループ企業とのシナジーを最大化するなど、再成長へのロードマップを着実に実行しております。

第3四半期会計期間においても、Passportブランドを「リブランディング」し、ブランド認知度の向上を目指すため、①既存店舗の看板のロゴマークを新ブランドロゴに統一するために改装工事を実施、②新しい売り場作りを推進、③新しいブランドロゴを入れたユニフォームを導入するなど、再成長へのロードマップに取り組んでおります。引き続き再成長へのロードマップを着実に実行することにより、「カワイイ」雑貨分野におけるNo.1ポジションを目指し、収益構造の改善を図ってまいります。

「RIZAPグループ株式会社との戦略的事業資本提携」の概要は以下のとおりです。

#### <再成長へのロードマップ フェーズ1>

##### (1) 構造改革

###### ①不採算店舗の精査

店舗家賃や人件費の見直しを図っても、採算の見込めない店舗については、当事業年度に退店を進め、赤字要因を無くす。

###### ②滞留在庫商品の処分

物流センターに滞留していた在庫を再評価（売価変更・廃棄など）する。

- ・物流センターの保管スペース費用の削減。
- ・セール商品として販売することで、売上の増加に寄与。
- ・在庫の資金化によるキャッシュ・フロー向上への貢献。

###### ③事業推進体制の強化

- ・店舗運営部門を再編成し、本部と店舗がよりコミュニケーションを取れる体制へ変更。
- ・マーケティング部門を独立部門として設置し、Passportブランドのリブランディングを推進し、リブランディングされた新たなブランドコンセプトに則った販売促進計画やプロモーション企画を推進していく。
- ・商品開発部門の人員体制の強化及びRIZAPグループ企業との連携を活かし、新しいPassport商品を計画することで、お客様が求めているPassportらしい商品を企画・開発していく。

###### ④コスト削減施策の計画、推進

システムコストの見直しや物流コストの見直しを実施し、コストの低減を図る。

#### <再成長へのロードマップ フェーズ2>

##### (2) リブランディング及び(3) RIZAPグループとのシナジーを最大化

###### ①Passportブランドの再定義

Passportとして目指す方向性を明確にした新ブランドロゴによるブランド認知度の向上を図る。

###### ②既存店舗のリニューアル

既存店舗の看板のロゴマークを新ブランドロゴに統一することで、新しいブランドイメージを既存店舗に展開し、ブランド認知度の向上を図る。

③新商品の企画、開発

- ・株式会社イデアインターナショナルのデザイン力を活かした新商品の企画、開発
- ・RIZAPグループ各社とのコラボレーション販売

④プロモーションの強化

- ・RIZAPグループの広告力を生かし、認知度アップを目指す。
- ・SNS、Webサイトでの積極的情報発信、ECサイトの充実化及びWebプロモーションの専門チームを新設する。

⑤新規出店の強化

積極的な出店を目指し、出店戦略を検討、推進。

資金面に関しましては、第三者割当増資による1,138百万円の資金調達のほか、取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、長期借入金530百万円のほか、短期的な借入による運転資金の調達をしており、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,032,671	1,585,543
受取手形及び売掛金	390,458	493,509
商品	1,533,790	1,364,960
未着商品	9,926	—
その他	117,618	88,701
流動資産合計	3,084,464	3,532,714
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	252,845	386,861
工具、器具及び備品(純額)	69,611	51,833
その他	18,776	15,554
有形固定資産合計	341,233	454,248
無形固定資産	86,381	53,405
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,404,155	1,344,450
その他	39,678	42,644
投資その他の資産合計	1,443,833	1,387,094
固定資産合計	1,871,448	1,894,748
資産合計	4,955,912	5,427,462
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,354,855	1,055,307
1年内償還予定の社債	375,000	260,000
短期借入金	750,000	972,800
1年内返済予定の長期借入金	198,500	292,000
リース債務	51,172	29,217
未払法人税等	35,095	65,808
賞与引当金	27,490	33,120
店舗閉鎖損失引当金	—	47,436
資産除去債務	1,940	9,646
その他	360,140	426,059
流動負債合計	3,154,194	3,191,395
固定負債		
社債	345,000	155,000
長期借入金	495,500	734,000
リース債務	16,442	—
退職給付引当金	269,212	273,301
資産除去債務	151,203	141,237
その他	49,252	27,535
固定負債合計	1,326,611	1,331,074
負債合計	4,480,806	4,522,470



(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,266	938,471
資本剰余金	267,045	836,250
利益剰余金	△109,144	△816,947
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	466,614	897,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,492	7,771
評価・換算差額等合計	8,492	7,771
純資産合計	475,106	904,992
負債純資産合計	4,955,912	5,427,462

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	7,964,788	7,286,318
売上原価	3,901,428	3,713,704
売上総利益	4,063,360	3,572,614
販売費及び一般管理費	4,012,534	4,025,982
営業利益又は営業損失(△)	50,826	△453,368
営業外収益		
受取利息	73	54
受取配当金	289	312
破損商品等弁償金	194	84
受取補償金	2,100	—
保険配当金	6,219	134
為替差益	—	620
雑収入	2,926	1,275
営業外収益合計	11,802	2,482
営業外費用		
支払利息	27,123	30,965
支払手数料	6,460	4,605
株式交付費	—	18,836
為替差損	4,655	—
雑損失	939	439
営業外費用合計	39,179	54,846
経常利益又は経常損失(△)	23,448	△505,732
特別損失		
固定資産除却損	10,450	6,816
店舗閉鎖損失	10,960	11,041
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	54,358
減損損失	5,828	21,939
特別損失合計	27,239	94,156
税引前四半期純損失(△)	△3,791	△599,888
法人税、住民税及び事業税	21,000	60,000
法人税等調整額	5,205	47,914
法人税等合計	26,205	107,914
四半期純損失(△)	△29,997	△707,802

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月27日付で、RIZAPグループ株式会社(旧社名健康コーポレーション株式会社)から第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が569,205千円、資本準備金が569,205千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が938,471千円、資本剰余金が836,250千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。